

音楽による
まち造り

ミュージック・フロム・ジャパン

2014年音楽祭・福島

ミュージック・フロム・ジャパン39周年行事は、沖縄の音楽に焦点を当て、そのユニークなリズムやメロディーを、歴史や文化など多面的な視点から紹介するプログラムを開催します。琉球王国としての歴史や、その地理的な位置から独自の文化を誇る沖縄の状況を、沖縄音楽の旗手、新良幸人が率いるグループにより、八重山地域、宮古地域、そして沖縄本島に伝わる唄や、新しい唄を通して紹介し、福島にエールを送ってまいります。また、沖縄県選出の参議院議員、糸数慶子氏を招聘し、沖縄の人々の思いを代表して語っていただきます。

糸数 慶子 (いとかず けいこ) 参議院議員 (沖縄県選出)

- 沖縄県読谷村に生まれる。米軍占領下で育ち、基地の重圧と平和の尊さについて身をもって実感。読谷高校を卒業後にバスガイドに就き、常に平和の視点と自然や文化にスポットを当てて沖縄を紹介。平和ガイドのさきがけとなる。
- 2004年7月の参議院議員選挙・沖縄選挙区で初当選。2013年7月に3選。現在、国会内では無所属、法務委員会委員。沖縄社会大衆党委員長。平和、環境、教育、女性問題を柱に活動が続いている。
- 著書に、『いのちの声ー女性・環境・平和の視点から』(2000年)、『沖縄にカジノは必要か?』(共著・2003年)、『沖縄ー平和への道』(2005年)、『沖縄戦と平和ガイド』(2008年)、『沖縄の風よ 薫れ』(2013年・高文研)



新良 幸人 (あら ゆきと)

沖縄県石垣市白保生まれ。11歳から八重山民謡を父親(新良幸永)に師事。17歳で八重山古典音楽コンクールで最高賞を受賞。18歳より大学進学のため石垣を離れ現在も那覇在住。パーシャクラブやアコースティック・パーシャのヴォーカル、三線奏者として、また、パーシャクラブの太鼓、仲宗根哲(サンデー)と二人での活動も平行して行う。シングル「ファミレウタ」はTBS系「筑紫哲也ニュース23」のエンディング曲に起用。2012年モントリオール国際映画祭で2冠を受賞した映画「カラカラ」の音楽監督担当。これまでにメキシコ、ジャマイカ、キューバ、香港、台湾など、海外でも公演を行う。その他、下地勇とのユニット・SAKISHIMA meeting や角松敏生、coba、夏川りみ、犬山イヌコ等のアルバムにも参加など、多方面で活躍。



下地 勇 (しもじ ゆさく)

オリジナル曲のほとんどを、自身の出身地宮古島の言葉(マークフツ)で歌うオンリーワン・アーティスト。沖縄県宮古島市平良生まれ。宮古高校を卒業後上京。音楽とはまったく無縁の7年間の東京生活を終え、25歳で沖縄本島に戻る。サラリーマンをしながら30歳の時に転機が訪れ、シンガーソングライターになる。2002年8月にインディーズでシングル「我達が生まれ島」をリリース。2005年にはインペリアルレコード(テイチクエンタテイメント)からメジャーデビュー。2006年に「宮良長包音楽賞・特別賞」を受賞。2008年発表の6th「3%」が、韓国のハイファイジャーナル誌で、ベストレコード賞に選出。現在は沖縄本島を拠点に、県外・海外でのライブ活動を展開中。「SAKISHIMA meeting」(新良幸人×下地勇)や「シモブクレコード」(BEGINの島袋優とのユニット)など、ソロ以外でも活動し、また、数々のアーティストへ楽曲提供。



松田 しのぶ (まつだ しのぶ)

沖縄県中部、北谷町生まれ。祖父の松田弘は野村流古典音楽師範、父親は三線の名手・松田弘一(ひろかず)。幼い頃から、名手の奏でる三線の音色に慣れ親しんできた。高校在学中の1990年に琉球民謡協会新人賞を受賞し、2001年には優秀賞を受賞。その後、琉球音楽協会に移籍し最高賞を受賞するとともに、「輝け民謡 アカデミー」においてアカデミー大賞を受賞。2002年にアルバム『ハリヨイ美童』でCDデビュー。2003年、2005年、2007年と角松敏生のコンサートに参加。2010年に2ndアルバム『月さやか』をリリース。2011年夏には、新良幸人×下地勇のユニット「SAKISHIMA Meeting」とのライブツアー。2012年4月、しゃかりのチアキ、元彩風の仲田かおりとボーカルユニット『月・太陽・☆』(つく・ていーだ・スター)を結成。シングル『愛々と』をリリース。



サンデー 仲宗根 哲 (なかね さとし)

大阪生まれ。小学校5年から両親の故郷、石垣島白保で育つ。琉球・八重山の古典音楽、および民謡の島太鼓による囃子、また伝統的奏法をベースにバンド・パーカッションとして幅広く活躍中。現代沖縄音楽シーンを牽引する島唄歌手、新良幸人(あらゆきと)とともに沖縄を代表するバンド・パーシャクラブのメンバーでもある。従来島太鼓とはひと味違う演奏スタイルとステージにおける存在感により、多くのミュージシャンから厚い信頼を集め共演している。国際交流基金主催の中国、モンゴル、中東、中米等の海外公演にも参加。

音楽による福島まち造り実行委員会

- 委員長 三浦 尚之 (福島市音楽文化総合アドバイザー)
 委員 佐藤俊市郎 (福島市教育委員会教育長)
 阿蘇 一男 (公益財団法人福島市振興公社理事長)
 古山 直一 (元福島県芸術文化団体連合会副会長)
 吉原 泰助 (元国立大学法人福島大学長)
 渡部 康 (財団法人桜ヶ丘病院院長)

ミュージック・フロム・ジャパン



三浦尚之

1975年に三浦尚之がニューヨークにて設立。以来ニューヨーク州芸術評議会をはじめ、国際交流基金、文化庁、日米の財団、在米日系企業など多方面からの支援を得て、音楽を通しての文化交流に務めている。音楽之友社賞、外務大臣表彰、新日鉄音楽賞、中島健蔵音楽賞、国際交流奨励賞に加え文化庁長官表彰が授与された。ニューヨークにおいて1994年に開設された日本音楽資料センターでは、日本の音楽や文化に関する世界中の様々な問い合わせに対応している。



いまこそ、理想から発想しよう。
キャノンのITソリューション。



キャノンマーケティングジャパン株式会社